

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって149年の絆をつなぐ ～
--------------	---------------------------------------------------------

知育	【目標】学力向上の推進(子どもの将来を見据えて今の学びを考える)				
	◎ 児童主体の「楽しく」「分かる」「できる」授業をめざし、これからの社会の変容を意識し、児童の将来を見据え責任をもった学習指導を展開することによって、確かな学力の育成を図る。				
目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組 【学びたい度 90% (R3 70%)】	自己評価		結果の考察・分析および改善策
			取組別	総合	
1 「わかる・できる」まで見届ける指導	肯定的評価 80%以上 CRT 正答率 80%以上 単元テスト年間平均 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力テスト分析を行い、求められる学力を明確にする。どのような授業を行えば達成できるのかを明確にする。 日々の授業改善及び授業力向上を図る計画的な研修を行っていく。(年間14回) 	3	3	アンケート結果は肯定的評価が 80%以上であった。しかし、教師の反省や保護者の意見から学習面で困っている児童に対して支援の在り方について模索していく必要性を感じた。
2 個に応じた指導の充実	肯定的評価 80%以上 CRT	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修(主題研)で、昨年度のCRT学力調査結果を分析し各学年の実態を明らかにする。 個に応じた指導の工夫を図る研究を行い、実践を通して、課題に応じた研究内容を定める。 	3		アンケート結果は肯定的評価が 80%以上であった。しかし家庭学習のサポートや個別に支援する方法など課題があり、工夫・改善を図る必要性を感じた。
3 学習への積極性を高める。	肯定的評価 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 事前研究会・事後研究会を実施し、研究授業から児童の学習への積極性を高める手立てを共通理解し、実践を重ねる。 	3		アンケート結果は肯定的評価が 80%以上であった。
4 将来を見据えた学びの目的を意識した学習指導を行う。	肯定的評価 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 事前研究会・事後研究会を実施し、単元を通じた授業づくりを全職員で行うことで、単元のねらいから日々の授業づくりを行うようにする。 	3		アンケート結果は肯定的評価が 80%以上であった。事前研究会と事後研究会を通して、単元を通じた授業づくりの在り方について考えることができた。
5 職員相互の認め合いと学び合い	1人1回以上の研究授業の実施 小中で相互参観3回	<ul style="list-style-type: none"> 1人1回以上の研究授業を行う。必ず事前研究会と事後研究会を実施する。 	4		計画されていた研究授業を確実に実施することができた。中学校の先生方ともお互いに参観することができた。
6 立腰指導徹底と基本的学習習慣の定着	肯定的評価 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業の中で立腰指導を繰り返し、基本的な学習習慣を定着させる。 	3		十分でない場面も見られるので、引き続き継続的な指導が必要である。
7 タブレットPCの効果的な活用による学力の向上	肯定的評価 80%以上 月2回以上のICT研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ICT サポーターが来校される日に合わせて、ICTに特化した校内自主研修会を実施する。 	3		自主研修会の実施を通して、具体的な授業場面でのICTの活用方法を身に付けることができた。

德育	【目標】豊かな心の教育推進(生徒指導3機能生かした認める指導と体験活動の充実)				
	◎ 基本的な生活習慣の定着と道徳や体験活動の推進による、豊かな感性と思いやりの心の醸成。				
目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組 【学びたい度 90% (R3 70%)】	自己評価		結果の考察・分析および改善策
			取組別	総合	
1 基本的な生活習慣の意義を考えさせる指導と定着の推進 あいさつ・廊下歩行・清掃	決まりやルールの厳守 自己評価 100% すすんであいさつ 自己評価 90%	・あいさつ指導 登校指導 集団登校 集団下校 雨の日の過ごし方の指導 (全校集会での話) 縦割り清掃 清掃指導	3		決まりやルールの厳守、すすんであいさつの自己評価は、90%を達成できているが、気持ちのよい挨拶や、自分からすすんでという点では、指導が必要である。集団登校は、特に問題なく、安全に登校できている。
2 いじめ・不登校の根絶	全員登校100日以上 いじめ0% いじめ早期発見率 100%	・生活に関するアンケート、教育相談及び・IF委員会をもとにした職員間の共通理解・連携 ・縦割り活動の充実 (縦割り清掃・委員会活動・昼休みの活動を通してのふれあい)	3		新型コロナウイルスの流行等により、全員登校は達成できていない。いじめについては、早期に発見し、早期解決することができた。不登校については、個別に対応し、欠席が長期化しないように努めている。
3 道徳教育の充実	命を大切にする授業実施率100% 学校が楽しいアンケート80%	・道徳の授業の充実 ・栽培活動の充実 (学級園・一人二鉢運動) ・全校放送での誕生日児童の紹介 ・ハッピーレター活動 (友達の良いところ紹介)	3	3	命を大切にする授業は、達成できた。栽培活動や誕生日紹介、ハッピーレターの活動について、計画通りに実施できた。アンケート「学校が楽しい」の項目についても、達成できている。今後、全校で集まる児童会活動など、積極的に取り入れていきたい。
4 読書の推進の充実	年間一人100冊以上の読書量	・図書支援員と連携し、委員会活動での呼びかけを行う。	3		図書委員会主催の図書館祭りを実施し、読書の推進と図書室に足を運んでもらえるような活動を行うことができた。
5 社会に関心をもたせる新聞活用の充実	新聞投稿年間100本以上	・放送での新聞・地域のニュースの紹介 ・学校長による新聞投稿の協力 ・新聞掲載者の紹介	2		後半は、放送委員会の児童が、新聞を題材にした内容を放送することができた。今後、題材や活用法など、指導の工夫が必要である。
6 体験活動の推進	学校ボランティア活用年間100人以上	・外部講師の積極的活用 (読み聞かせボランティアなど) ・体験活動への積極的参加 (米作り・そばうち・小林観光地巡り・市議会見学など)	3		計画していた活動の他にも、土木の日や非行防止教室など、積極的に外部講師の活用、体験活動を行うことができたが、コロナの影響で、目標達成はできなかった。

体育		【目標】 健やかな身体の育成(生きる力の元となる健康・体力を意識して) ◎ 体力向上プランを意識した基礎体力の向上と安全で健康的な生活習慣の定着を図る。			
		目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組 【学びたい度 90% (R3 70%)】	自己評価
取組別	総合				
1 新しい生活様式の徹底(マスク・手洗い・手指消毒・密の回避)	朝の家庭からの体温入力100% 新しい生活様式に関する児童の自己評価80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の家庭での検温、場に応じたマスクの着脱の指導を行う。 マスクや検温を忘れた児童には、その都度指導する。 保健便りによる啓発を行う。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 体温入力は全家庭から毎日100%入力とはいかなかったが、ほとんどの家庭から毎朝回答があり健康チェックの流れが定着している。 新しい生活様式については児童の肯定的意見が100%で、よくできている。
2 体力・運動能力の向上	体力テスト分析による改善方法の策定と実践 <ul style="list-style-type: none"> 陥没種目の3%向上 体育授業に関する教師の自己評価80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの結果、特に上体起こし、長座体前屈、反復横跳びについては、全国平均を下回っている学年が多いことが明らかになった。(R4結果より) 陥没種目については、体育の授業や体力向上週間を活用して、向上を図る。(3%アップ) 陥没種目については1月に再度測定をし、変容をみる。 研究授業など他の学年の授業を見る機会を増やして、体育科の授業力の向上を図る。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 2月に体力テストの落ち込みのある種目について改善方法を策定し実施する。
3 外遊びの奨励と自力登校の推進	外遊びをしている児童80%以上 自力登校100%	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間等に運動に親しむことができるような環境を整える。 自力登校を通して体力向上を図る。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 外遊びをしている児童79%でほぼ達成できている。 自力登校97%で、おおむね達成できている。
4 むし歯治療率の向上	養護教諭による歯磨き指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口実践 むし歯治療率85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年へ歯みがき指導、未治療者への受診勧告の発行、保健便りによる啓発を行う。 フッ化物洗口を確実にを行う。 	2		<ul style="list-style-type: none"> むし歯治療率12月末現在63.3%。引き続き受診について対象家庭に呼びかけていく。 フッ化物洗口は、コロナ流行の関係で中止しているが、おおむね実施できている。
5 欠席0の日の実現	欠席0の日 100日以上	<ul style="list-style-type: none"> 欠席した場合は、欠席理由の把握と家庭への連絡を確実にを行い、欠席が続かないように支援する。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 12月21日現在で91日と、おおむね達成できている。

食育		【目標】望ましい食習慣の育成(食は生きる源)			
		◎ 様々な経験を通じて「食」に関する関心を高め、健全な食生活を実現することができる基礎を育てる。			
目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組 【学びたい度 90% (R3 70%)】	自己評価		結果の考察・分析および改善策
			取組別	総合	
1 食育指導の充実	農業体験や食育の日と関連した家庭科授業の実施 ・学校支援ボランティアとの連動(芋・米など) ・給食に関する児童の自己評価80%以上 養護教諭による食育指導(全学年で) ・食育週間(弁当作り)2回、チャレンジクッキング2回実施 ・残食・食事のマナーに関する児童の自己評価80%以上	・伝統的な食文化を体験する活動の実施(米作り、そば打ち、いも掘り) ・委員会活動を通して残食を減らす取り組みを行う。 ・給食時間に食材のクイズや豆知識を放送し、興味をもたせる。 ・ホームページを活用し、毎日の給食や食育週間の紹介を通じて情報発信を行う。 ・チャレンジクッキングは、提出された物を掲示することで、児童同士でお互いを認め合い、意欲を高める。	4	4	・給食に関する児童の自己評価94%と、好き嫌いせずに給食を食べることができている。 ・食事のマナーに対する保護者の自己評価87%と、おおむね達成できている。 ・教育課程に沿って各食育に関する行事を計画的に実践できている。
2 食物アレルギーへの対応	アレルギーに対する対応の職員の自己評価80%以上 食物アレルギーに関する職員研修の実施(年1回)	・複数の目で確認する。(除去食個別対応票の活用) ・食物アレルギーに関する職員研修を行うことで、アレルギーに関する共通理解を図る。	4		・アレルギーに関する職員の自己評価100%で達成できた。 ・学校薬剤師を講師に招き食物アレルギー研修を実施できた。

次年度の方向性についての 校長所見	<p>学校の方針としていた内容について、児童・保護者・職員によるアンケートの結果、「よくできている」「できている」と評価した項目は、17項目中13が8割を超えていた。しかし、「立腰」「鉛筆の持ち方」「読書」「外遊び」「むし歯の治療」に関しては、達成率が8割を下回り、今後力を入れていくべき内容となった。また、アンケート結果はよかったものの、学習面で配慮を要する児童への支援や家庭学習の在り方やあいさつ等工夫していく必要がある。</p> <p>今後、CRT結果と2回目の体力テスト結果で、本年度の成果を確認分析し次年度につないでいきたい。</p>
----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------